喜々津小学校　PTAだより
「楽校へ行こう!特集号」No.4
令和元年12月23日　発行責任者：樋口 究
11月3日（日）「楽校へ行こう！２０１９」は、参加家族３７８名、児童４９８名、講師約５０名、教職員３２名の総勢約９６０名の参加をいただき、盛大に開催されました。皆さまのご協力に感謝いたします。開校式と、各コースでの活動の様子をご紹介します。
開校式
PTA会長挨拶
講師の紹介
校長先生挨拶
教頭先生からの諸注意伝達
【①絵本の世界とグリーティングカードを楽しもう】
しかけ絵本や面白い本を紹介してもらった。今度は自分でも探してみたい。カード作りも楽しかった。
【②料理教室】
さつまいもパンケーキを作った。グループで役割分担しながらみんなで作れて楽しかった。
【③絵手紙】
先生の見本を参考に、親子でどうしたら上手に描けるか考えて楽しかった。色を作るのもおもしろかった。
【④竹工作】
凧と割り箸鉄砲を作った。帰ってからもまた作って、凧をとばして遊んだ。親子で楽しめた。
【⑤国際エンジョイワールド】
エジプトの人と○×クイズやゲームをして楽しかった。違う国の人と話をして違う文化も知れて、とっても楽しかった。
【⑥これであなたも音楽家】
カスタネットやマラカス・たいこなどの楽器作りや親子でリズム遊びが楽しかった。身体を使って音楽を楽しめた。

【⑦科学教室：低学年】
ポンポン蒸気船とブーメランを作った。のこぎりや火を使うなど難しいことにチャレンジできて良かった。
【⑧科学教室：高学年】
熱気球は、火を使ってビニール袋の中の空気を温めると、天井に上がっていってすごかった。
【⑨ふるさと諫早かるた】
イロハ歌を使った「かるた」で、少し難しかったけど、カードをとるのが楽しかった。
【⑩手芸】
江迎まゆ玉を作った。切り込みの入った所に布をはめこんでいき、きれいなまゆ玉が完成して、家でも飾っている。
【⑪バレーボール】
基本から教えもらい、低学年と高学年に分かれて、それぞれゲームもできてとても楽しかった。
【⑫グラウンドゴルフ】
ホールインワンをねらってコースを回ったのが楽しかった。同じグループの人とも仲良くできてよかった。
【⑬喜々津っ子海の学校】
海草が海をきれいにするために大事なものだとわかった。親も船に乗れて、海の上で気持ちよく楽しかった。
【⑭カヌー体験】
方向をコントロールするのが難しかった。でも２回目は慣れて、うまく乗ることができて楽しかった。
【⑮ディスクゴルフ】
どこまで遠くに投げられるか競ったり、ゲームをしたりしてグループで楽しめた。
【⑯サバイバル炊飯】
炊飯器のありがたさが分かった。煙と戦いながら火を調整して炊きあげたご飯はもちもちで美味しかった。
【⑰長崎街道 in 喜々津散策】
江戸時代の人も見たと思われる風景をながめ、説明を聞きながら想像して歩き、親子で楽しむことができた。
【⑱昔のあそびをやってみよう】
色々な紙飛行機の折り方を覚え、外に出て飛ばして遊んだ。コマ回しも楽しかった。普段家で見ない子どもの様子も見ることができて嬉しかった。

【PTAだより「学校へ行こう!特集号」】

（２）楽校へ行こう

毎年11月、午前中の日曜授業参観に引き続き、午後から開催している喜々津小ＰＴＡ一大イベントで、地域の方や先生方を講師とし、普段、学校では体験出来ない球技や工作、調理など約18の様々な体験活動を親子一緒に行っている。

昨年度の参加総数は児童数の２倍近くの約960人が参加するなど、クラスや学年を超えた交流はもちろんのこと、保護者や先生方も一緒に体験を行い交流を行っている。

（３）地域の立哨ボランティア

近年、不審者事件等が多発していることもあり、立哨当番以外でも親子での登校や地域の方が立哨ボランティアを行ってくださっている。

先日、広報部が感謝の意味も込めて広報誌で、一部の立哨ボランティアの方々の紹介をさせていただいた。これにより、子どもたちはもちろんのこと、親としても「地域に見守られて子育てをしている」ことの再確認に繋がったと思っている。

喜々津小学校ＰＴＡ広報誌「あけぼの」 2019 Vol.2
特集2 守ろう！
こどもの安全
交通事故から
こどもを守る
① 地域の立哨ボランティア
② 親子で通学路を歩いてみる
③ 学校へは車で送迎しない

【特集「守ろう！こどもの安全」】

（4）各学年と地域との交流

学校行事でも、各学年が地域との交流を行っている。

例えば、１年生では、地域の皆さんを講師にお招きした昔遊びの実施や、５年生では、同じ町内の喜々津東小の同学年の子どもたちと一緒に、ペーロンを体験するなどし、多良見町ならではの伝統にふれ、地域の人々との関わりを通し、ふるさとを愛する心を育成している。

（5）キャリア講演会

３年前から授業参観の時間をいただいて、５年生または６年生の子どもたちに対して、毎年３名の保護者による、仕事の話やこれまでの様々な体験談などの講演会を開催している。

講師が児童に身近な友達の親でもあることから、より現実味があり、親近感も沸くことから好評を得ている。今後の人生における様々な選択の一つのきっかけになればと考えている。

喜々津小学校ＰＴＡ広報誌「あけぼの」　2019　Vol.3

日曜参観日に贈る、ＰＴＡ特別企画 !!

キャリア講演会 & 楽校へ行こう!

１１月４日

キャリア講演会

11月4日、日曜授業参観において、5年生の児童を対象に、3名の保護者によるキャリア講演会が開催されました。

この企画は、去年に引き続き開催されたもので、児童たちに身近な保護者から様々な仕事や体験談を聞くことにより、今後の人生において一つのきっかけや選択肢になればと実施されました。

今回は、3名の保護者からスライドとユーモアを交えながら、看護師、消防士、長崎県職員（農業土木課）の紹介があり、それぞれの仕事についた経緯や内容のほか、仕事以外の様々な体験をしてほしいとのメッセージを伝えていました。

児童たちも友達のお父さんお母さんという身近な人の講演ということもあり、興味深く聞き入っており、たくさんの質問も行われるなど、児童も講演者も、とてもいい経験だったようです。

来年も実施する予定とのことですので会員の皆さまも講演されてみてはいかがでしょうか。

【キャリア講演会】

（6）合同地区別懇談会

喜々津中学校校区の保護者、各地区の自治会長、民生委員の方々と学校の教職員との意見交換の場として、『合同地区別懇談会』を実施している。学校、各地区、家庭などいろいろな子どもたちの様子をテーマとして、話し合い意見を出し合うことで、地域で子どもを育てることを再確認する良い機会となっている。

また、通学路等の危険個所の洗い出しや、再確認、改善点、対策についても話ができる貴重な場となっている。

４．ＰＴＡ活動外での取組

ここではＰＴＡとして直接関わったわけではないが、近年、校区内で実践された取組を紹介する。

（１）子ども会活動支援事業（お化け屋敷出店）

これは諫早市では初の試みとして、町内の子ども会と教育委員会の「子ども会活動支援事業」がタイアップして行われたものである。

毎月、地元商店街で開催される「たらみ市」への出店を通して、子ども達に地域に親しんでもらうことの他、子どもたち自身に企画運営をさせることによって、自信や視野を広げることを目的に実施された。

すばらしい取組だったため、私も校区内外に周知したいと思い、長崎新聞の声の欄に投稿させていただいたが、子どもたちもそれぞれの役割をこなし、顔には満足・充実感が漂っており、普段ではなかなか経験できない、またいつまでも心に残るような貴重な体験になったと思う。

（２）各地区における取組紹介

そのほか、子ども会と町内会が連携して、ヨーヨー釣りや竹工作、流しソーメンを行った昔遊びや、　夏休みに町内の有志の方が、公民館に許可を頂き、子どもたちの自学会を開催している等の事例がある。

以上紹介させていただいたこれらの取組などは、企画評議委員会などの機会に報告を頂いている。　今後も、これらの情報を積極的に発信するとともに、実施を検討している団体には、情報やノウハウを提供することは可

能であると思っているので、各地域の積極的な活動に寄与していきたいと考えている。

５．成果と課題

現在でも課題であるが、「ＰＴＡ＝面倒・大変」といったイメージの払拭が難しい。そのため、ＰＴＡ活動が会員に身近なものであることを周知し、関心を寄せていただく必要性も感じたことから、これまでに紹介したような、広報紙を中心とした広報活動に取り組んだところである。

その成果と課題を以下に示すが、本来は集計を取るなどし、具体的に数値等で示せればよかったのだが、過去の数値がなく比較が難しいため、以下の通り報告する。

【成　果】

○広報紙を活用することにより、ＰＴＡ活動の周知がこれまで以上に図られ、身近に感じ、参加者や本部役員になる方が増えた。

○会員アンケート企画や地域との関わり、普段知りえない学校の様子などを盛り込むことで、より読者の興味を引き、紙面の熟読度が上がった。

○広報紙の内容も学校内外から高く評価されるようになり、作成する側のモチベーションアップにつながり、より充実するといった好循環が起きている。

【課　題】

○各専門部の任期は基本1年間であるため、特に広報部などは、スムーズな引き継ぎにむけて広報紙作成マニュアルの作成や、経験者に顧問として参加していただくこと等を検討する。

○コンクール受賞などが続いているが、後任の方が負担に思うことのないよう配慮することも必要。

○予算等の都合もあるが、地域の学校として、今後は自治会の回覧などにも配布を検討する。

○広報紙は発行回数等にある程度制限があるため、ＰＴＡ本部だよりやスクールネット、口コミ、ＳＮＳといった、違う形の広報活動も積極的に取り入れ、いろんな形で会員、地域と繋がれる環境を整えたい。

６．おわりに

今回、報告の場をいただいた事により、改めて、各ＰＴＡ会員の参加意識を高め、大人も学べる活動にするにはどうしたらよいかを振り返る良い機会となった。

基本的には、「親が楽しみ、それぞれが可能な範囲で活動に取り組むこと」が、「子どもたちの学校生活や健全育成へもつながる」と考えている。しかし、まだまだ負担と感じる方も少なくはないことから、会員への広報活動を継続するとともに、ＰＴＡの活動内容を順次精査し、役員や会員が楽しんで無理なく参加できる活動を目指す必要がある。

そして、長い歴史と伝統に支えられてきた喜々津小が、これからも皆様に愛され、親しまれる学校であり続けるために、会員はもちろん、家庭・地域・学校とのつながりを重視した活動を今後も継続していきたい。

【運動会を陰で支える会員を紹介した「ウラ運動会」】

第１分科会

大人のつながりを深めることを目標とする分野

研究内容　**“続けることで大成功”**
～縦糸と横糸で紡ぎ、広がりと強さのある育友会活動を目指して～

提 言 者　雲仙市立南串第一小学校育友会　　会長　**森下　大地**